



会 長	小林 幹夫	青少年奉仕	橋本八右衛門
副 会 長	道尻 誠助	幹 事	正部家光彦
クラブ奉仕		会 計	佐々木泰宏
会長エレクト	紺野 広	会場監督	峯 正一
職業奉仕	妻神 和憲	直前会長	小井田和哉
社会奉仕	地代所久恭	副 幹 事	松本 剛典
国際奉仕	中村 稔彦	会計補佐	山村 和芳

例会日	毎週水曜日 12:30	例会場	八戸グランドホテル
事務所	八戸市番町14		八戸グランドホテル内
	電話 (43) 0608	FAX (43) 0661	
	e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp		
	http://hachinohe-rotary.org/		
会報・広報委員長	峯 正一	同副委員長	荒谷 達也
同 委 員	廣田 茂	同 委 員	道尻 誠助

国際ロータリーのテーマ — 2022~23 — 八戸ロータリークラブのテーマ  
**イマジン ロータリー** **ロータリーの力を信じよう!**

国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ

八戸ロータリークラブ会長 小林 幹 夫

## 9 月 は ロータリーの友月間です

### 第3241回例会 2022.9.14

#### 会 長 要 件 小林 幹夫 会長



先週は南グループ合同例会でしたので、2週間ぶりの昼の例会になります。きょうは昼例会のお昼ご飯についてお話しさせていただきます。皆さんの召し上がっているお昼代は約2,000円分の食事です。これは市内6クラブ全部同じ金額でやってもらっています。最近はないのですが、メーカーに行くと他のクラブ、ホテルでビジターフィーを払いますが、それも2,200円と統一させていただいています。なぜなら市内に6クラブあって、それぞれ金額が違くとビジターで行ったときに困るのではないかと数年前から紳士協定的な形で同じ料金でやっていました。

ここにきて、やはりさまざまな原材料の値上げもあり、会長に成りたての7月上旬にホテルから現在2,000円でやっているものを2,200円でやって欲しいという話を受けました。それはうちのクラブだけではなく、グランド、パーク、プラザのすべてのホテルが市内6クラブに対して200円上げてくれという

話をしました。

その時に当然クラブの理事会でも協議しましたし、6クラブの会長が集まって協議しましたが、その時には9月から値上げしてくれという話でした。ただロータリー年度は7月からのなので、始まってすぐの値上げだと、うちのクラブで丸々1年間の値上げを受け入れると3~400,000円の負担増になります。スタートした直後の予算組み直しになりますので一旦お断りということでホテルに返答しました。

返答後2回目の形で、9月5日付で各ホテルから返答をいただきました。9月からの受け入れは難しいとクラブから回答しましたが、11月からでいいので値上げをしてくれないかという内容でした。これについても南グループ合同例会をやる前に6クラブ会長が集まって、受け入れるかどうかを協議しました。われわれとすると状況もわかるので受け入れざるをえないのだろうという形は考えていますが、今までクラブと各ホテルはいろいろと信頼関係ももちながらやってきたつもりはありますが、けっこう一方的な文章だったので、各クラブの会長はわかるけれど、一方的とい

う感覚を覚えています。

皆さんにもこの文章をみてどう考えるかをとらえた上で、来週理事会がありますので、そこでまた協議させていただきます。それを6クラブに持っていく。もしかしたら6クラブの中で温度差があるかもしれないので、そこからは個別対応になる可能性もあるかと思っています。現時点では6クラブが協調して動いていきたいと思いますという形になっています。いろいろ値上げでたいへんだと思います。いろいろ工夫しながら楽しんでいきたいと思っています。皆さんも我慢するところは我慢し、楽しむところは楽しむというところでやっていきたいと思っています。

### 幹事報告 松本 剛典 副幹事



○「南グループ合同名簿」をメールボックスにお入れしておりますので、お持ちください。

○来週の例会は外部講師として青森県庁からジョブスポあおもりについて、担当者がお出でになります。その方が例会前に名刺交換をしたいということでしたので、来週は名刺をご持参ください。

### 委員会報告

親睦・会場委員会 増田 敏委員



○ニコニコボックスの報告

- ・誕生祝 深澤 隆 村上壽治さん
- ・奥様誕生祝 荒谷達也 小田山紀暢さん

永澤 信さん 先日のゴルフコンペで優勝することができました。

夏川戸 齊さん 永澤さん優勝おめでとございます。

小林幹夫さん 鴨澤さん、永澤さん、赤澤さん本日のビブリオをお願いします。

赤澤栄治・佐々木泰宏・正部家淳司 } ニコニコ  
増田 敏・山田慶次・渡辺 孝さん } コデー



第3回水曜会について 正部家淳司さん



9月8日、みちのく国際ゴルフクラブで15名参加で開催しました。優勝は永澤信さん、準優勝は高田文昭さん、3位は石橋信雄さんでした。次回は11月19日八戸カントリークラブで開催しますので、多数のご参加をお願いします。

ロータリーの友委員会担当例会



「ロータリーの友」9月号でビブリオバトル

深澤 隆委員長

バトラー

・鴨澤 諭さん「この人を訪ねて～木下義隆さん」(七尾RC)

・永澤 信さん「う米お話」「卓話の泉～おいしいお米の味わい方」

・赤澤栄治さん「折り返し点からのライフスタイル～隈 研吾さん」

鴨澤 諭さん 「この人を訪ねて～



木下義隆さん](七尾RC)

わたしは今回日本各地で活躍しているロータリアンを紹介する「この人を訪ねて」という記事を取り上げさせてい

たきます。72ページ 能登半島にある石川県七尾市の七尾ロータリークラブで2020-2021年度会長を務められた木下義隆さんが紹介されています。木下さんは運送会社の二代目で、身長180cm、体重90kgの巨漢で、ジャイアンというあだ名で呼ばれているアイディアマンかつ行動力抜群の豪快な方の方です。

彼はロータリーの活動と同時に今年で32回目を迎えた国内でも最古のジャズフェスの「モントレージャズフェスティバルin能登」略してMJF in Notoの実行委員長としてご活躍です。元々地元のジャズファンが本家のジャズフェスを見にいったのがきっかけで開催されるようになったそうです。南郷のジャズフェスでもおなじみの渡辺貞夫、山下洋輔さん、今度デーリー東北ホールに来るらしい日野皓正さんをはじめ、国内外の大物が出演し、毎年大きな盛り上がりをしていました。が、この2年間コロナ禍のため中止。そして本年7月30日に満を持して再開し、大成功を取めたようです。

記事でたいへん興味深いのは木下さんはさぞジャズ好きの方と思いきや、幅広く音楽は好きなものの、ジャズはそんなに詳しくない。ジャズも悪くないな、という程度だそうです。ですが、本人いわく、イベント主催者としてはむしろ適任かなと思っておられるそうです。

なぜならジャズ命の方だとジャズ漬けのイベントになりがちで、普通の人は敷居が高くなってしまふということ。主催者側の感覚が古かったり、視野が狭かったりすると面白みや話題性がないマニア向けのイベントになってしまうのではないかと考えているそうです。

そんな中で、能登ではジャズフェスながら柔軟な企画で、過去には演歌界から藤あや子

さん、今年はピンクレディの増田恵子さんが特別ゲストで出演して、ビッグバンドをバックにジャズ調のUFOや渚のシンドバットを熱唱し、会場は大きく盛り上がったようです。なお、来年に向けて木下さんが長年大ファンで惚れ込んでいるキョンキョンこと小泉今日子さんに出演交渉をしているようです。ますます木下さんのご活躍と、そしてこのフェスが楽しみな感じですよ。

このフェスでは広い会場に大小7~8か所のステージが設けられ、同時、時間差で進行しているようです。大きなロックフェスではありませんが、第一線のホットなバンドが間を開けずに次々と登場して、飽きさせないような工夫がされています。例年3,000人程度の集客で、県外、県内、市内から1/3ずつというバランスのよい客層のようです。時代の音楽の流れ、出演者の人選、企画内容を吟味していると感じますし、話題性なども含めて安心のベテラン、懐かしいベテラン、期待の新鋭のミュージシャンと音楽的にも観客的にも偏らないバランスの取れた構成で開催されているようです。

さて、ジャズボーカルの名曲に「縁は異なるもの」というスタンダードがあります。今年出演のエディさんは奥さんが日本人で、現在札幌在住だそうです。実はジャズ界だけではなく、ロックやポップスでも地方、都会を問わず日本に在住している方がいらっしゃいます。八戸にもデビッド・マシューズさんというグラミー賞を取ったすばらしいミュージシャンが在住されています。小さなライブハウスでも演奏活動をされています。奥さんはわたしの中学高校で席が隣の同級生のみちこさんです。ぜひ機会があれば気楽に演奏活動をしています。デビットさんとみち子さんは南郷ジャズで知り合いました。こういう音楽フェスがグローバルな交流、ご縁につながっていけばと思っています。

#### 質疑応答

鴨澤：デビット・マシューズさんとみち子さんが結婚したとき、ちょうど中学の同窓会があり、その時にいきなりマシューズさんを連

れてきたのですが。みんな誰だか全然存じ上げなくて、ピアノを弾いて日本酒を飲む変な外人の爺さんを、みち子さんが旦那さんと言って連れてきたと大騒ぎになりました。マッシュズさんのピアノでカラオケを歌った人間が何人かいます。今ではちょっと恐れ多くてできませんが、当時酔った勢いでマッシュズさんの演奏で日本の演歌をカラオケで歌った人間がいたことを鮮明に覚えています。わたしはたぶん歌っていません。

永澤 信さん 「う米お話」「卓話の泉～



おいしいお米の味わい方

横書き P36～37 「おいしい生活のためのヒント」から、テーマは「う米お話」と縦書き P68にも米の話があります

ので、この話題をご説明させていただきます。P36-37に日本にとって重要な主食の米の話が書いてあります。ロータリーの父でもある米山梅吉さんのお名前にも“米”がついているから、米の話題が2つ出ているのかと思いながら見ていました。

今はコンビニでも手軽に手に入る「おにぎり」、「おむすび」がありますが、「おにぎり」と「おむすび」の違いは何だろうと思いつつながら読ませていただきました。古くは日本最古の文献の古事記、平安時代の源氏物語にも「おにぎり」、「おむすび」の原型となるものがあると書かれてあります。歴史を紐解くと、戦国時代になると武士が常時保存食として携行している兵糧にも使われていたり、あるいは江戸時代になると浅草海苔の養殖が始まって、おにぎりが出てきたという歴史が書かれていました。

「おにぎり」と「おむすび」はコンビニでどう使いわけているのかと思い、調べてみたところ、ローソンやミニストップは“おにぎり”、ファミリーマートとデーリーヤマザキは“おむすび”とっているようです。セブンイレブンは例えば“塩にぎり”みたいな海苔をつけないものを“おむすび”、後から海苔をつけるものを“おにぎり”と呼んでいる

ようで、日本語はおもしろいと思いながら読みました。

ブランド米は日本にいくつあるかという、驚くほど274種あります。有名なのは昔からある“コシヒカリ”、宮城の“ササニシキ”。わが青森県の誇る“青天の霹靂”についても話題として取り上げていただいています。後ほどお読みください。どんなふうに形容されているかという、「驚きのおいしさをストレートに表現したネーミング」です。青は青森県の青、天は遥かなる北の空、霹靂は稲妻を意味している。おいしいもの＝稲妻というような形で形容されていました。

その中で日本人は主食は米と言われていますが、世界でどのくらい米が消費されているかという、残念ながら50位。茶碗1杯で150gなので、日本人は1日120gらしいです。わたしはたぶん2.5杯くらい食べますので、たぶん350gくらいは食べているかと思いますが、こんなに消費されていないんだと改めて感じた次第です。恐らく米は太る、洋食化があるのかなと思いました。

P68は、では米はどうやったらおいしく食べられるのでしょうか。最近わたしは米にはまっています。わたしはひとこが25町歩くらいやっている専業農家で、この前のゴールデンウィークに田植えを手伝ってきました。いとは一人でやっているの、新米ができる秋に、もしかしたら稲刈りも手伝うのかな。やっと新米を食べられると思っていたら、青森にきて“青天の霹靂”に出会い、いつもは“ひとめぼれ”なのですが、最近は“青天の霹靂”に浮気しています。

“霹靂”を食べておいしいと満足していましたが、米だけでなく、研ぎ方、蒸し方によって米は変わってくるんだらうなということが、そのP68に書かれています。新米の季節、どうせ食べるならおいしいものが良からうと思いますので、皆さんぜひロータリーの友をお読みいただければと思います。

米にちなんで、昨年お仲間に入れていただきました新人ですが、新人もよく“新米”と呼ばれますが、いつまでも“新米”ではなく

“半人前”くらいになれるように頑張ってお参りたいと思いますので、引き続きどうぞよろしくお願いたします。

#### 質疑応答

広瀬：好きなおにぎりの具材はありますか？

永澤：筋子です。東北は筋子が一番人気だそうです。

広瀬：筋子といえば八食で買う筋子もいいですが、青森市古川市場で買うトラウト子がすごくおいしいです。八戸の筋子もいいですが、青森でパラパラの筋子もぜひ食べてください。

永澤：親戚が農家をやっていますが、25町歩はけっこうあります。1町歩は9,900㎡で鹿島スタジアムと同じくらい。それが25個あるということで、叔父が亡くなっているところが一人でやっているの、5月に初めて手伝いに行ってきました。これまで“ひとめぼれ”を頂戴して、それで育てていただいて、初めて田植えを手伝いました。

ふだん会社で働いていると脂っこい汗をかきますが、あぁいった仕事をして爽やかな汗もいいなと思いつつ、会社人生を終わってからは、どういう働き方をしようかと思うきっかけとなるひと時でした。また秋には親戚の手伝いに行きたいと思っている次第です。

赤澤栄治さん 「折り返し点からのライフスタイル～隈 研吾さん」



縦組みP4「折り返し点からのライフスタイル～隈 研吾さん」についてお話しします。わたしがやりたいのを取

られてしまったからです。

2022年東京オリンピック国立競技場を設計された方として、皆さんご存じかと思います。青森県にも十和田市現在美術館、十和田市民民交流プラザ、国際芸術センター青森、青森県立美術館、十和田市教育プラザ、弘前市芸術文化施設、下北克雪ドーム、青森県立保健大学などたくさん設計されています。皆さんも一度は入ったことがある施設が多かろうと

思います。

P4「都市化が人間の体、心に与えるストレスがとても大きいことは20世紀後半から指摘されています。都市化に対する批判、環境問題なども盛んに言われ続けていたのに、人々は集中への坂道を上がり続けていました。それに加え今回のコロナ。このまま上がり続けると先がないのではないかと、世界中が思い知ったのではとわたしは思っています。世界中が同時共通体験をした結果、人類は坂道を降りるしかないと認識したと思います。集中から分散へ。都市から自然へ、という形で一步一步下らなければいけない。高いところから突然飛び降りるわけにはいきませんから、この折り返し地点が日本が開催国としてちょうどオリンピックと重なったわけです。」

さりげなく東京オリンピックで自分が設計した国立競技場がこの折り返し地点になったことをアピールしています。

P5「大都市ほど経済的レベルも高い、文化も高いという時代から逆方向に行く今は、逆にばらけるほど多様性が鍵です。それぞれの地域が自分の多様性というものを自覚し、独自の文化を育てることが重要になってくる。」

P6「日本の伝統的な建築構造も取り入れました。雨の多い日本では庇を深くして雨風を防ぎました。人工的な空調をせずとも、気持ちのいい風を通すというのが日本の建築のうりの一つです。庇は今後キーワードの一つになると思います。日本の今後の建築界はコンクリートの密閉された空間を石油を燃やしたり、エアコンで調整するという方法ではなく、庇によって、中の人間の環境をコントロールするという方法。日本の伝統を生かす方向に向かうでしょう。競技場でも階により木のピッチを違ったものにして、風の流れを変えています。」

P8「先祖が集中の後の分散の世界のシステムを考えたとき、日本はいわば日本型ライフスタイル、分散システムを世界に向けて提案できます。もちろん国内でもライフスタイルを新しく作り変える時代が来ていると思

ますけれども。日本型積み木にわたしは取り組みましたが、日本とは何かということもお話ししたかったことでした。先祖がしてきたように自然に親しみ、もう一度健康を取り戻し、もう一度自由を取り戻す。それがコロナウイルスの戦いから得た最大の教訓だと思います。』

『コロナウイルスとの戦いから得た』という、わたしはひじょうに疑問です。わたしはワクチンを打っていません。わたしのような者が“戦い”をしたということが言えるのではないのでしょうか。何も疑問を持たず、ワクチンをどんどん打った方々はこういう説はとってはいけなとわたしは思っています。わたしはへそ曲がり、変わり者で、悪い宗教に入っていると思われる方もいるかもしれません。全く違います。わたしは憂国の志士です。今、国家予算の1/3を社会保障費に使っています。これがどんどん増える一方です。医療技術も設備も整っているのに、病院が増える一方、医療費がかかる一方。これはまったく世の中が間違っていると思わざるを得ません。国民の義務は病気になってはいけない。病気になっても病院に行っはいけないというのがわたしの信念です。だからわたしは我慢しています。病気になっても自分で治すように努力しています。要はその選択をしないで、安易に医療に頼ることは皆さん非国民だとわたしは思っています。これからでも皆さん生き方を変えて、病気にならない生き方をしていただければと思っています。

#### 質疑応答

赤澤：わたしは日本人になるために味噌、醤油、漬物を自分で作るようになりました。麴も味噌を作るために創り出しました。そしてその麴を使って漬物、甘麴を自分で発酵させて飲んでいます。それでたいへん不思議なことを発見しました。お酒をいっぱい飲んで酔っ払って、アルコールチェッカーで検知して、その後に麴を2杯3杯飲

むと、アルコールが0になります。急になります。一気に0になります。これを発見したとき、わたしはこの世の中の酒飲み運転を追放できる。大きな発見だと思っています。酒を飲んでも甘酒を飲めば、アルコールチェッカーにひっかからない。わたしは今そう思っています。

深澤：テーブルに関係なく、発表の優劣ではなく、この記事を読んでみたいと思ったものに挙手をお願いします。

- 鴨澤 諭さん「この人を訪ねて～木下義隆さん」
- 永澤 信さん「う米お話」「卓話の泉～おいしいお米の味わい方」
- 赤澤栄治さん「折り返し点からのライフスタイル～隈 研吾さん」

今回の勝者は永澤さんです。

今年度のビブリオバトルは会長の肝いりで2回目を迎えました。去年の続きで、バトラーを探すのがなかなか苦戦してします。いつも出てくださる方々には一回は声がかかっているかと思えます。声をかけるときに〇月〇日にとすると、その時は難しいとおっしゃいます。もちろんコロナの影響もあり、なかなか予定もわからない中でお願いして、今回の3人に関しても快くお引き受けいただきました。

今後は2回目、3回目という企画にするのか、このままビブリオバトルの形をどうするのかは、会長とも話しながら決めていきたいと思えます。優勝者だけが何かをもらうのではなく、発表した方はお疲れ様でしたということで、何かお疲れ賞的なものも提供いただくように、ということを理事会で検討いただくようにしています。わたしが声をかけたときには、できる限りバトラーとしてご参加いただければと思っています。

きょうの3人の方々にもう一度拍手をお願いします。